

ClassNK PSC

Bulletin

Date:	25 June, 2024
No:	NK-PSC-24
Attachment	No / Yes:

Title:

オーストラリア港における油フィルタリング装置への検査手順・拘留基準に関する Marine Notice 2024/03 の発行について

Typical deficiency (outline of comment) by PSC:

・油フィルタリング装置が Marine Notice 2024/03 “Considerations during testing”に合致していない。

Port State	Australia	Port: Australian ports
------------	-----------	------------------------

Action taken by PSC: Detention / Rectify before Departure / Others ()

Description:

■AMSA (Australian Maritime Safety Authority) より、15ppm Bilge separator 及び 15ppm Bilge alarm より構成される油フィルタリング装置への検査手順・拘留基準に関する Marine Notice 2024/03 (以下、MN) が発行されております。

当該 MN は、AMSA Web ページに掲載されており、以下の URL からご確認いただけます。

MN 掲載 URL : [Index of marine notices | Australian Maritime Safety Authority \(amsa.gov.au\)](https://www.amsa.gov.au/index-of-marine-notice)

■本 MN に説明されている検査手順・拘留基準概要は以下の通りです。

- 15ppm Bilge alarm 用 Sampling line 上に Flow sensor がついている場合 (図 1 参照) の検査手順
 - ① 15ppm Bilge alarm 用 Sampling line 上の弁 (以下、Valve X) を閉めます。
 - ② ①の後5秒以内に15ppm Bilge alarmが発報することが要求されます。
 - ③ ①の後20秒以内に三方弁が自動的にBilge Tank側に切り替わることが要求されます。→②及び③に適合していないと拘留の可能性が有ります (likely to be detained)。

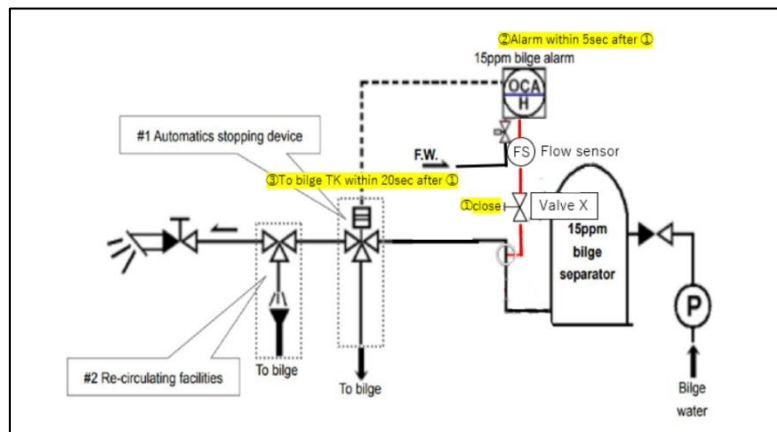


図 1 15ppm Bilge alarm 用 Sampling line 上に Flow sensor 及び Valve X がついたアレンジ例

2. 15ppm Bilge alarm用Sampling lineにFlow sensorがついていない場合（図1中のFlow sensorなし）の検査手順

- ✓試験開始時には、Valve Xを開とする必要があります。
- ✓乗組員がValve Xをどのような状態（開または閉）で、試験を開始するか確認されます。
- ✓その結果を受け、以下に場合分けされます。

Case1: MN, 2. a)乗組員がValve Xを開にして、試験を開始した場合

- 装置が適切に運用されていると判断されます。
 - Valve Xを閉め、装置の挙動が1.の②及び③に適合していない場合、装置は条約非適合と判断されます。
- 拘留の可能性には言及されておりませんが、1.の②及び③に適合するまでの一時的手段として、Valve Xの「secured and sealed open」が認められます。本処置の例は当該MNのFig. 6.を参照ください。

(MN, Fig. 6の「secured and sealed open」の例→)



Fig 6.

Sample line valve to 15ppm bilge alarm sealed open, and signage fitted.

Case2: MN, 2. b)&c)乗組員がValve Xを閉のまま試験を開始した場合

- 装置が適切に運用されていない可能性があるとして判断されます。
- 装置が1.の②及び③に適合し、かつ、乗組員が装置の操作を熟知するまで拘留される可能性があります。

■補足

本 MN において、AMSA は以下のような懸念を想定していると考えております。

- (1) 15ppm未満のサンプル水が 15ppm Bilge alarm内に滞留している状態で、乗組員がValve Xを閉める。
 - (2) 上記(1)により、三方弁が常に船外方向を向くことになり、仮に15ppm bilge separatorで油分除去が不十分となった場合に、15ppm以上のビルジ水が船外に排水可能となる。
- そのため、1.の②及び③に適合した装置を持つ、または、Valve Xがない船舶の場合、AMSAが想定する懸念は生じないことから、拘留の可能性は極めて低いと考えております。

■対策

上記1及び2の検査手順及び拘留基準への対策として

- AA) 1.の②及び③に適合するように装置を改造する。
または
- BB) Valve Xを撤去する。

の2点が考えられます。一方で、AA)については、現時点で対応が困難と考えているメーカー殿や対応に時間を要すると考えているメーカー殿など、メーカー殿により対応状況は様々であることを確認しております。従いまして、AA)又はBB)のいずれのケースを選択する場合も、事前にメーカー殿へ相談していただきますようお願いいたします。